

公社等外郭団体に関する情報公開

団体名	公益財団法人千葉交響楽団	県所管課	環境生活部県民生活・文化課
代表者	理事長 田谷 徹郎	電 話	043-223-2406
所在地	千葉市中央区市場町11番2号		
電 話	043-222-4231		
設立年月日	昭和60年4月16日		
ホームページ アドレス	<a href="https://chibakyo.jp/index.html">https://chibakyo.jp/index.html</a>		
事業内容	演奏会の開催 音楽鑑賞教室の開催 音楽に関する講座の開設 ほか		

1 出資等の状況(R3.4.1現在)

(単位:千円)

資本金(又は出捐金)	65,300
------------	--------

出資(出捐)者	出資(出捐)額	出資(出捐)割合	出資(出捐)順位	備考
千葉県	25,000	38.3%	1	
太陽堂印刷	11,000	16.8%	2	
千葉銀行	4,000	6.1%	3	
千葉市	1,500	2.3%	4	
船橋市	1,500	2.3%	4	
千葉興業銀行	1,500	2.3%	4	
東京電力千葉支店	1,500	2.3%	4	
東京ガス千葉支店	1,500	2.3%	4	
市川市	1,000	1.5%	9	
松戸市ほか12者	16,800	25.7%		

2 社員(会員)の状況(社団法人のみ)(R3.4.1現在)

社員総数	
------	--

区 分		社員数	主な者
内 訳	地方公共 団体		
	県		
	市町村		
	国又は政府系機関		
	民間法人		
その他			

### 3 財務状況

#### (1)貸借対照表から

(単位:千円)

項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
総資産	122,681	108,689	135,707
負債	17,493	3,704	38,036
(うち有利子負債)	0	0	30,000
純資産	105,188	104,985	97,671
累積損益(利益剰余金)	39,627	39,364	31,746

#### (2)損益計算書から

(単位:千円)

項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
総収入 (=売上高+営業外収益+特別利益)	183,022	174,294	117,319
経常損益	12,953	262	7,619
当期損益	12,953	262	7,619
減価償却前当期損益	12,953	262	7,619

#### 4 年度末借入金残高等の状況

(単位:千円)

項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
借入金残高	0	0	30,000
うち県からの借入金残高	0	0	0
うち県以外からの借入金残高	0	0	30,000
うち県の債務保証又は損失補償の対象となる借入金残高	0	0	0

一般社団・財団法人及び公益社団・財団法人(特例法人(従来の公益法人)含む。)については、次のとおり公益法人会計基準に読み替える。

貸借対照表 純資産 正味財産合計

利益剰余金 一般正味財産

損益計算書 損益計算書 正味財産増減計算書

総収入(=売上高+営業外収益+特別利益) 総収入(=経常収益+経常外収益+当期指定正味財産増加額)

経常損益 当期経常増減額

当期損益 当期一般正味財産増減額

累積損益(利益剰余金)については、基本金又は基本財産に相当するものを除いたものとなる。

5 県の財政支出の状況

(1) 委託料・補助金等

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	平成30年度	令和元年度	令和2年度
委託料	特別支援学校巡回コンサート 伝統芸能・洋楽ふれあい体験事業 元気いっぱい!ちばファミリーコンサート(南総)	14,155	14,321	8,575
補助金・交付金・負担金	運営費補助 音楽鑑賞教室事業負担金 県民芸術劇場事業負担金	55,412	54,040	30,362
合計		69,567	68,361	38,937

(2) その他

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利子補給		0	0	0
税の減免額		0	0	0
出資金		0	0	0
貸付金		0	0	0
上記以外のもの		0	0	0
合計		0	0	0

(3) 委託料のうち再委託に関するもの

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	平成30年度	令和元年度	令和2年度
委託料のうち再委託したもの		0	0	0
再委託のうち入札によるもの		0	0	0
再委託のうち随意契約によるもの		0	0	0

## 6 役職員の状況

### (1) 役職員数(各年度7月1日現在)

(単位:人)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
常勤役員数	1	2	2
うち県退職者	1	2	2
うち県派遣職員	0	0	0
常勤職員数	14	15	16
うち県退職者	0	1	1
うち県派遣職員	0	0	0

### (2) 役職員の平均年収等の状況

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
役員数(県派遣又は県OB)	1人(1人)	2人(2人)	2人(2人)
役員平均年齢	*	*	*
平均年収(千円)	*	*	*
職員数(県派遣又は県OB)	13人(0人)	15人(1人)	16人(1人)
職員平均年齢	54歳	54歳	54歳
平均年収(千円)	3,465千円	3,700千円	3,531千円

対象は常勤の役職員です。(嘱託職員、日々雇用職員は除く。)

役職員数は実人員を記入してください。

平均年収は、役員報酬や給料等総人件費を実人員で除して算出すること。

役職員数は実人員を記入してください。

令和3年度中の毎月1日現在の役職員数を合計し12か月で割り、小数点第2位を四捨五入してください。

例:4月の役員数が5名、9月末で1名減り、年度末は4名であった場合は4.5人となります。

令和3年度の平均年収については推計となる。

## 7 改革方針の取組状況

改革方針(区分)	関与縮小
改革方針(概要)	依頼演奏会事業や寄附金等の獲得のための営業活動を積極的に実施し、収入源を増やすとともに、徹底した経費の見直しにより経営基盤を確立し、県依存型経営から速やかに脱却する。
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度から音楽監督に著名な指揮者である山下一史氏を招聘し、精力的に広報、企業・団体等への支援要請を行い収入確保に努めた。</li> <li>令和元年度は夏休みの「ファミリーコンサート」公演において未就学児も入場可とし親子ペアチケットを発売するなど新たな客層の取り込みに努めた。また、営業により県内企業等から協賛金を得た。</li> <li>年間の定期特別公演回数を令和元年度から1回増やして4回公演とし、当楽団の認知度向上に努めた。なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により1公演が中止となった。</li> <li>事務局職員や楽団員の給与や旅費を管理するソフトウェアを導入し、事務効率を上げるとともに適正な経費の支出に努めている。</li> </ul>
その他(特記事項等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>現行の「経営改善計画」に基づく取組みにより、概ね収支が改善したところであるが、令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、演奏機会が減り事業収入が減少していることから、今後も厳しい経営状況が見込まれる。</li> <li>当楽団が掲げる「おらがまちのオーケストラ」というコンセプトのもと、県民の認知度を一層向上させるとともに、県内企業等への営業活動を強化し依頼公演を増加させることにより、経営基盤をさらに安定させる必要がある。</li> </ul>

\*平成28年4月に千葉県行政改革推進本部で決定した改革方針とその取組状況を記載してください。